

事業番号	06 06 04	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	廃棄物監視指導事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課
			実施期間	S46 ~	E-mail	junkan @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・不法投棄の発見件数は未だ年間2,300件弱あり、また、廃棄物の排出事業者や処理業者等による不適切な処理が見られる。
- ・このため、引き続き立入検査等を効果的かつ適切に行い、不法投棄等不適正処理の防止に取り組む必要がある。

2 事業目的

排出事業者及び処理業者に対する監視指導を実施することにより、廃棄物の適正処理を推進して、安心・安全な生活環境を確保する。また、市町村等と連携した監視や防止活動により、不法投棄の減少を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

① 廃棄物の不適正処理防止

- ・廃棄物の適正処理の確認・指導のため、産業廃棄物関係事業者等への立入検査、夜間監視、産業廃棄物収集運搬車両点検等を実施
- ・広く情報収集するため、不法投棄ホットラインを設置

② 不法投棄監視連絡員の配置

- ・住民との連携による広範囲、きめ細やかな情報収集等早期・適切な対応を図るため、全県下に100名の不法投棄監視連絡員を配置

③ 市町村職員の県職員への併任

- ・市町村との連携・情報交換を密にして対応を図るため、市町村職員に産業廃棄物処理業者等への立入検査権を付与



産業廃棄物収集運搬車両点検

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	立入検査数	件	7,508	5,786	↓	6,665	↑	6,370	達成	監視体制に変更がないため、R4年度の立入計画件数と同じ6,370件を目標とする	
②	監視連絡員によるパトロール	時間	12,808	12,645	↓	12,366	↓	12,000	達成	監視連絡員100人×10時間×12月により、12,000時間を目標とする	
③	指標なし										

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-1③	良好な生活環境保全の推進											

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	51,529	0	51,529	25,335	46,285	19.0
R4年度	0	49,492	6,270	55,762	24,725	51,042	19.0
R3年度	0	49,001	0	49,001	24,573	44,334	19.0

事業番号	06 06 04	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	廃棄物監視指導事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課		

7 主な取組実績と成果

<p>① 廃棄物の不適正処理防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物関係事業者等への立入検査を6,665件実施し、廃棄物の適正処理を指導した。 不法投棄ホットラインを設置し、県民から47件の通報を受け、早期に現場対応することができた。 不法投棄防止夜間監視を36回、産業廃棄物収集運搬車両点検を8箇所を実施し、不法投棄の未然防止のための啓発や指導を行った。 ドローンを活用した上空監視を12回（10箇所）において実施し、現場の正確な全体把握により、指導効果を上げることができた。 <p>② 不法投棄監視連絡員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 全県下に100名の不法投棄監視連絡員を配置し、住民との連携による広範囲できめ細やかな情報収集を行い、不法投棄の早期発見・早期対応を実施することができた。 <p>③ 市町村職員の県職員への併任</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内55市町村職員175名に県職員の併任発令を行い、産業廃棄物処理業者等への立入検査権を付与することで、不適正事案に対する指導について市町村と県との連携・情報交換を密にして対応した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	立入検査数	R4年度推移	↓	R5年度推移	↑	達成状況	達成
年間計画に基づき実施した結果、成果目標（目標値）が達成できた。							
指標②	監視連絡員によるパトロール	R4年度推移	↓	R5年度推移	↓	達成状況	達成
監視連絡員によるパトロールは、年間計画に基づき実施した結果、成果目標を達成した。							
指標③	指標なし	R4年度推移		R5年度推移		達成状況	

9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 不法投棄の発見件数は未だ2,300件弱あった。また、廃棄物の排出事業者や処理業者等による不適正な処理が見られた。 このため、引き続き立入検査等を効果的且つ適切に行い、不法投棄等不適正処理の防止に取り組む必要がある。
<p>(2) 事業改善の方策</p> <p>排出事業者及び処理業者に対する監視指導を行うことにより、廃棄物の適正処理を推進して、安心・安全な生活環境を確保する。また、市町村等と連携した監視や不法投棄防止活動により、不法投棄の減少を目指す。</p>

事業番号	06 06 04	細事業一覧（令和5年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	廃棄物監視指導事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	廃棄物監視指導事業費		44,334 千円	51,042 千円	46,285 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	廃棄物指導員の配置	直接	廃棄物の監視業務の適正化、効率化を図るため、佐久、上伊那、松本、長野地域振興局に廃棄物指導員（警察OB等）を配置 廃棄物指導員 8名、立入件数 6,665件		
2	不法投棄監視連絡員の配置	直接	住民との連携による広範囲、きめ細やかな情報収集等早期・適切な対応を図るため、全県下に不法投棄監視連絡員を配置 不法投棄監視連絡員 100名、パトロール 12,366時間		
3	廃棄物不適正処理防止対策	直接	・廃棄物の適正処理の確認・指導のため、産業廃棄物関係業者等への立入検査、夜間監視、ドローンによる上空監視等を実施 ・広く情報を収集するため、不法投棄ホットラインの設置【24時間受付】 立入件数 6,665件、夜間監視 36日、ドローンによる監視 12件以上		